イタリア･ポーランド保護者の旅行記

番外編：ローマ ・ポンペイ・ナポリ・ワルシャワ

8月19日　ローマ観光　その１　コロッセオ、スペイン階段、トレビの泉

昨夕時間切れで入れなかったコロッセオを再訪。以前は無かった厳しいセキュリティーチェックを通り内部へ。外から見えるコロッセオとはまた違う表情が見られて、悠久の昔に思いを馳せました。すりが多いスペイン階段は朝早かったおかげでそれほどの人混みはなく、みな女優気分で写真撮影。階段下の噴水は思ったより冷たくて気持ち良かったのですが、さすがに現地の人々のように飲み水にする勇気はなかったです。トレビの泉は水不足の影響もみられず、水が滔々と流れ、“またくるね～”との願いを込めてコインを後ろ向きに投げ入れてきました。

8月19日　ローマ観光　その２　パンテオン

午前中のハイライト、パンテノンは圧巻。2000年近くもほぼ完全な状態で存在している建物。天井中央にある穴はオルクル（目）と呼ばれ、直径は9メートル。穴なので雨が降り注ぎますが、当日は晴天のため日光が降り注いでいました。幅、高さともに43mのドームを支えるローマンコンクリートの強度に目を瞠ります。現代のコンクリート建築が100年くらいしか持たないのが不思議。

8月19日　ローマ観光　その３　バチカン美術館・システィーナ礼拝堂・サンピエトロ寺院

皆で昼食をとった後は、バチカン美術館、システィーナ礼拝度、サンピエトロ大聖堂を回りました。バチカン美術館はあまりの至宝の数々に一杯いっぱい。システィーナ礼拝堂は、幅14m、奥行き40.5m、高さ20mの天井と側面を描き切ったミケランジェロの筆致に圧倒され、カトリック総本山であるサンピエトロ大聖堂の荘厳な雰囲気に信徒でなくとも敬虔な気持ちになりました。大聖堂のクーポラから見た、サンピエトロ広場やバチカン市国の緑、遠くまで見えるローマの街は絶景で、ほとんどのメンバーがこの景色を楽しんだようです。

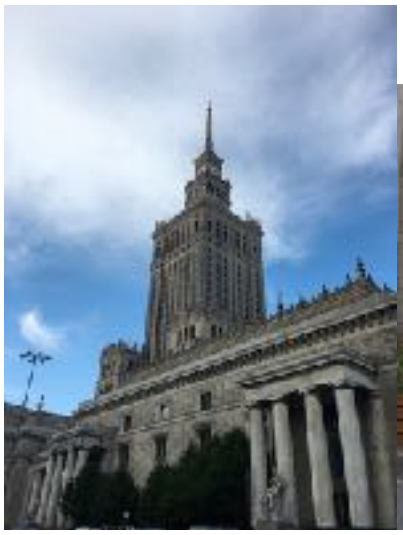
このローマ終日観光の１日は、携帯の万歩計でなんと歩数26,066歩、ウォーキング距離18.1km、上った階数24階と旅行中の最高を記録。他の日も13ｋｍ、14kmと連日よく歩きました。

8月20日　ポンペイ

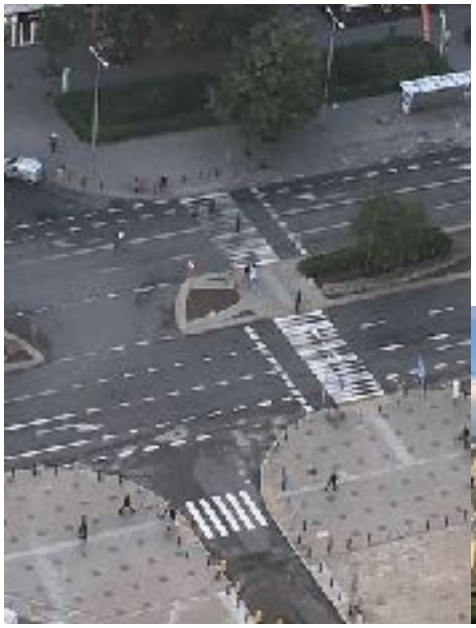
バスと電車を乗り継いでナポリとポンペイへの日帰り観光。紀元79年8月24日ヴェスヴィオ火山の噴火でわずか19時間で町全体が灰に埋もれたポンペイは、紀元前の遺跡が残る奇跡の町。1748年に本格的な発掘が始まるまで約1700年近く地中深く眠っていました。当時1万人と推測される町は、道路や水路が整備され、水汲み場や泉、お風呂場、調理場など、当時の発達した文明と暮らしが偲ばれました。日差しの強い戸外から当時のままに残る窓の小さい屋内に入るとひんやりと涼しく、暑さを凌ぐ知恵や工夫なども、高度な都市整備と同様に驚かされるばかりです。大人やこどもの遺体からとった人型は正視に堪えませんでしたが、ポンペイを訪れることができて本当に良かった。

8月21日　ワルシャワ

35℃近いローマからアリタリア航空でブダペストに戻り、ポーランド航空プロペラ機で一路ワルシャワへ。到着時は17℃しかなくみな寒い寒いと連発。先に到着した組は、1955年竣工の文化科学宮殿の塔に上って街を一望。ワルシャワの街でひときわ異彩を放つこの建物は、スターリンによってソ連からポーランドに贈られました。年配の方はソ連邦の支配の象徴として嫌悪する人も多いとのことでしたが、中は映画館や劇場、博物館、会議場、展示場、書店、そして多数のオフィスが入居しています。見下ろすと町の横断歩道のひとつが鍵盤になっているのを発見！さすがショパンの街！

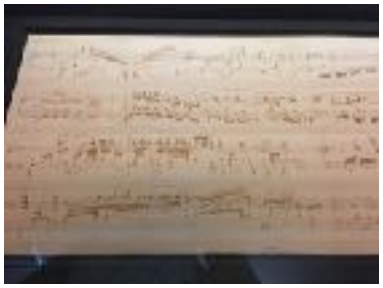


WARSZAWA



8月22日　ワルシャワ観光　その１　ショパン博物館

朝一番でショパンミュージーアム（ショパン博物館）へ。オーディオ機器があちこちに設置され、入館時のカードをかざすと様々なショパンの音楽や映像が流れてきます。39歳の若さで亡くなったショパンですが、晩年の2年間（1849-49）に作曲したり弾いたりしたグランドピアノが展示された部屋や、クッションに坐って音楽を楽しめるリスニングルームなど、ショパン好きには何時間でも過ごせるミュージーアムでした。肖像画、自筆の楽譜、生活用品、関わった女性やパリのサロンの様子など、見どころ満載。



8月22日　ワルシャワ観光　その２　聖十字架教会

その後、ショパンの心臓が埋葬されている聖十字架教会を訪れました。フランスパリで亡くなったショパンですが、せめて心臓だけは祖国ポーランドに埋葬してほしいという生前からの願いが叶えられ、この教会の柱の下に埋められたとのことです。ちょうどミサが執り行われており祭壇の前までは行けませんでしたが、特別な雰囲気の中教会内部を観ることができました。この教会はワルシャワ大学を目の前に、コペルニクスの像がある広場に面しています。そこからワルシャワ宮殿に向かう道沿い、再生ボタンを押すとショパンの音楽が流れるベンチが何箇所か設置されていました。

8月22日　ワルシャワ観光　その３　ワルシャワ王宮

ワルシャワ王宮は目まぐるしく変化する歴史に翻弄され続けてきたバロック様式の絢爛豪華な宮殿。ジグムント3世の居城だった当時、ヨーロッパで最も美しい宮殿の1つに数えられていた宮殿でしたが、第二次大戦時、王宮を含めたワルシャワ市街はドイツ軍の報復攻撃により徹底的に破壊され、総て灰燼に帰してしまいました。1945年の瓦礫と化した街の写真と、廃墟に残った建物の欠片を使って忠実に復元された1975年当時の王宮の写真を比較すると、その復元の努力がどれほどのものであったか、王宮や旧市街を再建したワルシャワ市民の想いが伝わってきました。宮殿内部にあった価値のある調度品類は幸運にも専門家の手により事前に国外へと持ち出されていたので難を逃れ、当時のままの状態で見学することができました。

ポーランド　スーパーマーケット

ポーランドのスーパーマーケットではEU認証のECOマークの商品も多数見られ、ジュースがその場で絞れるセルフスタンドなどもあってオーガニックな感じでした。
なにより物価が安くて、女子数名爆買い！？でした。（笑）買い物カゴが可愛いでしょう！　.

乗り物編：鉄道・メトロ・バス・券売機

われらが18人分のチケットを買っている間、後ろの人は延々待っていてくれましたが、それほどいらいらする様子もなくホっ！
ナポリ駅構内で歌いだした歌声を立ち止まって聞いてくれた人もいましたよ～

旅の後半、山川ツーリストには本当にお世話になりました。
企画・準備・手配・引率、諸々、ありがとうございました！

そして慶子先生、様々なところでお世話になった方々へ
素晴らしい夏を、ありがとうございました！
Köszönöm szépen !
Grazie !
Dziękuję !
Thank you !
By Y.U.＆ ALL